

視覚障がい者2団体の概要

資料 1

○ 社会福祉法人 日本盲人会連合(日盲連)

にほんもうじんかいれんごう にちもうれん

概要	視覚障害者の社会への完全参加と平等の実現に向け、障害者自らが主体的・組織的に運動を展開している。加盟団体に対する連絡及び助成を行うとともに、国や地方自治体に対して視覚障害者政策（人権、福祉、教育、職業、環境問題等）の充実を求めている。 障害者福祉関係施策に関する審議会等のメンバーとしても活動している。
代表者	さきがわ よしひこ 笹川 吉彦 会長
設立年	1948年(昭和23年)
構成	団体数 60団体(都道府県、政令指定都市毎の組織。我が国最大。) 会員数 約50,000人
活動内容	1. 全国の視覚障害者団体に対する連絡及び助成事業 2. 点字図書館、点字出版所、更正相談所、録音製作所の設置運営 3. 点字情報ネットワーク、福祉用具の販売斡購等事業 4. 過去に3度（最後は昭和31年）、ヘレンケラー女史を招請 5. 10月末にアジア太平洋盲人福祉会議（千葉市等）で開催し、障害者権利条約の批准と視覚障害者施策の充実を目指す。

○ 全日本視覚障害者協議会(全視協)

ぜんにほんしかくしょうがいしゃきょうぎかい ぜんしきょう

概要	視覚障害者の平等な暮らしと社会参加を実現するために、 1 障害をおぎなう制度と技術開発の遅れ 2 視覚障害者への理解と啓発の遅れ 3 人権と民主主義の遅れ の「3つの遅れ」を克服する活動に取り組んでいる。
代表者	たなか しょうじ 田中 章治 会長
設立年	1967年(昭和42年)
構成	団体数 25団体(都道府県単位の組織) 会員数 約1,300人
活動内容	1. 障害福祉年金と児童扶養手当の併給を実現させた。 2. 駅ホームから落ちて電車で巻き込まれて死亡した視覚障害者の裁判を支援するとともに、各地で視覚障害者誘導用ブロックの敷設を働きかけ、同ブロックの普及に貢献した。 3. 国家公務員試験における点字試験の実施を実現させた。各自治体における点字試験の実施を働きかけている。 4. 音響式信号機の設置を求めて各地で運動している。